

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 23 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2022 年 5 月 9 日 (月) 10 時～12 時

(2) 会場

Zoom オンライン会議

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	細田浩之
岡山 NPO センター	石原達也
ひろしま NPO センター	松原裕樹
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② 事務局

とっとり県民活動活性化センター	小林綾子
ひろしま NPO センター	松村渉

(4) 議題

① 運営委員の交代について

ふるさと島根定住財団より、運営委員については当面細田氏とし、小笠原氏をオブザーバーとする旨の報告を受け、確認した。

② NOBORDER 不備について

コロナ 1 期実行団体 NOBORDER の会計処理に不備があった件について、その事実と対応をまとめた報告書をコンソ HP にて公開する旨を確認した。

公開範囲（団体名等）については、担当 PO が NOBORDER と協議を行い確認することとした。

③ 2021 年度決算について

コロナ 1 期については JANPIA からの確認に返答中である旨を確認した。

コロナ 2 期については JANPIA からの確認待ちである旨を確認した。

2019、2020、2021 通常枠については、通帳記帳に合わせた内容を確認した。

事務局より単年度報告から、通年（3 年度）報告へ修正する旨の説明があり、承認した。

④ 2022 年度申請について

【意見交換】

■鳥取

- 感想として、新機軸が（広げる、深める、別テーマ）が必要だと感じている。
- 広げるのなら、愛媛が 5 県研修に参加するなどの事例もあることから、広がりを作れると思う
- バリエティ型で成果を見せるのが難しいことはあるが、子ども、地域拠点、障がい者に対応する事業をしてきた。ここまでやってきたことを深掘してテーマ設定するのはあっていいと思う。
- 変わらないと言えば変わらないが、実績をもとに、テーマごとに深めるのも 1 つの形だと思う。
- 各県がばらばらとテーマを出しているのではなく、5 県コンソとして示し、5 県としての成果を次につなげるとよいと思う。

■島根

- 共通テーマを 1 つ選ぶというのは、各県状況があり厳しいかなと思った。
- 鳥取が言う通り、今までのテーマを深掘、これまでの成果をもう少し出していく手はあると感じた

■広島

- セカンドステージ（2019 通常枠から 2021 通常枠までの 3 か年をファーストステージとして）をどうするかビジョンが必要
- 限られた時間では 1 テーマに絞るのは難しい、広げる方がいい気がする

■山口

- 多様な軸がある中で優先順位を立てるのは難しい
- 休眠を始めるときにもベースの考え方があった
- 休眠のために動くより、これまで 5 県で、あるいはそれぞれやってきたことに、休眠を活用してつなげるという方向
- あまり無理が生じないようにということも出てきた
- 休眠を外して 5 県の動きを考えると、岡山での合同研修に四国が入ってきて、中四国がだんだん出てきたところ
- 地方の中間支援をどう作っていくかというラインもある

- 休眠を外れても、中四国広がるのは我々の指針だと思う
- 広げる、深めるはバランスになる
- 個人的には中四国の動きを出せればと思う

■岡山

- JANPIA 側から明確に言われたのは、「これまでの枠ではだめ」ということ。
- 鳥取の気持ちもわかるが、現状維持は難しいと感じている。
- 採択を目指すのであれば、エリアを広げる、知見の共有といった拡大路線は必要だと思う。
- 岡山事例を他県で、PO もダブル体制、四国も入れていくといったイメージ。
- そういったことから、テーマを統一して申請するのが、今までとの違いもありわかりやすい
- 災害など、どこにいても必要なものは、説明しやすいと思う。
- コンソ型はむずかしい。中国地方の、東京から見ると『田舎の課題』でごまかしてきた
- 共通と言いつつも、そういったテーマの立て方では厳しいと感じている。
- 四国に広げるなら、徳島以外は何とかなる気がする

■鳥取

- 災害枠における実行団体と資金分配の役割のイメージがわからない

■岡山

- 災害が起きた際に災害対応できる NPO を増やす。
- 何か訓練、組織内で居場所づくり、物資保管、これにお金出すこ
- ひろしま NPO センタースタッフが岡山社協に研修講師出来ている
- やり方がそろっている方が応援しやすい
- 多少汎用性があると思うのは、熱海のケースを話した際に空き家が多いと、だれもそこをかたづけな
い、2次被害を生むなど問題が生じている
- 災害に備えた空き家山林整備
- 福祉施設も対応していきましょう
- ある程度備えるにしたら広げられそう
- 一番は被災者支援を増やす
- 災害時のシェルター、拠点整備、空き家も割と広めに行けると思う
- それに合わせた民間の協定整備、研修に行政も呼ぶなどやれることはいろいろあると思う
- 避難生活と復旧・復興支援が中心
- 発災直後は全国域の NPO（災害に専門性の高い NPO）や、救急の出番

■広島

- 個人的には南海トラフを想定したい
- 細かい課題は山ほどあるが広島岡山はある程度している
- 山陽全域がダメージを受けた際に平時からどうするのか

- 山口、山陰から山陽へのバックアップなど考えると岡山の言うところは必要だと思う

■岡山

- 鳥取島根も地震はあった
- 相互バックアップできる体制は重要

■島根

- 災害については県の防災部が中心になってやっているのは聞いている
- オブザーバーで参加はしているが中心ではない
- 災害テーマになった時にどうかわれるかイメージがまだわからない
- 何かあれば考えるようにしないとにならないが
- 災害 NPO を引っ張る組織ではない

■山口

- 県民ネット 21 が災害時に出ていくことはない
- どちらかというと県社協がメイン
- 現状のポジションはそう。その中のボランティアへの情報発信を手伝うところ
- 事業としても本格的に組み込んではいない

■鳥取

- 鳥取も災害を専門にしているわけではない
- 個人的には、災害とは言っても、子どもの問題、困難を抱えている人、等と同じように問題があると認識している
- 県も力を入れている
- 休眠事業そのものに壁があるとは思わないが、一方で実行団体が無い。そこが厳しいと思うところ
- 資金分配の役割と、実行団体の役割、そこを緩くすると、福祉の施設の役割など広くとらえて実行団体を募集するなら可能かもしれない
- 災害は通常の問題との裏表、広く多くの団体に関係がある

■岡山

- 結果的に障がい者・高齢者が避難できる場所がない
- 小学校に寝泊まり大変なので、福祉施設が受入できないかという話をしたりしている
- どの団体も地域が被災したら、障害を持った方、外国人といったニッチなところの災害対応力を高めるなら

■広島

- 資金分配でやった時、ニッチを支える団体が休眠で申請するのは難しい
- 学校法人、子どもをテーマ、福祉避難所、子育て中、妊婦さんが避難所に逃げられるかということ

- 全国的に出来ている動き
- 大学、保育を抱えている大学が自治体と協定を組んで、子育て向けの避難所出来てらいいな
- 大学なら書類揃えるの難しくはない
- NPO と 3 者でやりましょうといけると、「備えの協定が生まれた」といったインパクトにもつながる

- 意見交換を踏まえて、2022 年度秋募集に向けて、草の根枠および災害枠について検討を行うこととした。
- 事務局において草の根枠、災害枠の募集要件等の情報を収集し、7 月頃に実施する次回運営委員会までに企画素案を作成し、その内容をもとに判断を行うこととした。

⑤その他


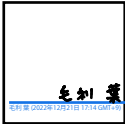
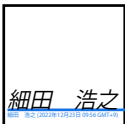


- 岡山より 5 県研修についての報告を受けた。
- アンケート結果からは、リアルで来た人は改めてリアル良かったという感想を得た
- ハイブリットで開催したことからは一部のオンライン参加者からリアルのノリについていけないという声があったが、おおむね好感触だった。
- ハイブリッドだからこそ遠距離から参加することができたという声もあった

以上で議事のすべてを終了し、16:30 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2022年5月10日

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	細田浩之	
運営委員	石原達也	
運営委員	伊藤彰	

第23回運営委員会議事録


最終監査レポート

2022-12-23


作成日 :	2022-12-21
ユーザー名 :	Wataru Matsumura (matsumura3@npoc.or.jp)
ステータス :	署名済み
トランザクション ID :	CBJCHBCAABAAIUsje2wYDFrTEG4GT_hYGgZsOPatP2p7

履歴

-  Wataru Matsumura (matsumura3@npoc.or.jp) 様が文書を作成しました
2022-12-21 - 5:24:39 GMT- IP アドレス : 153.194.67.167
-  文書が署名のために matsubara@npoc.or.jp 様に電子メールで送信されました
2022-12-21 - 5:25:56 GMT
-  matsubara@npoc.or.jp 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-21 - 6:33:32 GMT- IP アドレス : 180.25.97.90
-  署名者 matsubara@npoc.or.jp 様は 署名時に 松原裕樹 として名前を入力しました
2022-12-21 - 6:35:44 GMT- IP アドレス : 180.25.97.90
-  松原裕樹 (matsubara@npoc.or.jp) 様が文書に電子サインしました
署名日 : 2022-12-21 - 6:35:46 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 180.25.97.90
-  文書が署名のために ymouri.tottori@gmail.com 様に電子メールで送信されました
2022-12-21 - 6:35:47 GMT
-  ymouri.tottori@gmail.com 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-21 - 8:04:06 GMT- IP アドレス : 66.249.84.53
-  署名者 ymouri.tottori@gmail.com 様は 署名時に 毛利 葉 として名前を入力しました
2022-12-21 - 8:14:00 GMT- IP アドレス : 106.180.76.205
-  毛利 葉 (ymouri.tottori@gmail.com) 様が文書に電子サインしました
署名日 : 2022-12-21 - 8:14:02 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 106.180.76.205
-  文書が署名のために hosodah@teiju.or.jp 様に電子メールで送信されました
2022-12-21 - 8:14:03 GMT
-  hosodah@teiju.or.jp 様が電子メールを閲覧しました
2022-12-23 - 0:46:13 GMT- IP アドレス : 220.110.212.169

 署名者 hosodah@teiju.or.jp 様は 署名時に 細田 浩之 として名前を入力しました


2022-12-23 - 0:56:09 GMT- IP アドレス : 220.110.212.169

 細田 浩之 (hosodah@teiju.or.jp) 様が文書に電子サインしました


署名日 : 2022-12-23 - 0:56:11 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 220.110.212.169

 文書が署名のために npokahama.ishihara@gmail.com 様に電子メールで送信されました

2022-12-23 - 0:56:12 GMT

 npokahama.ishihara@gmail.com 様に送信された電子メールが配信できずに戻ってきました


2022-12-23 - 0:56:20 GMT

 Wataru Matsumura (matsumura3@npoc.or.jp) 様は代替の署名者 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様を追加しましたが、元の署名者 npokahama.ishihara@gmail.com 様は引き続き署名できます

2022-12-23 - 1:00:50 GMT- IP アドレス : 153.194.67.167

 文書が署名のために 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) に電子メールで送信されました

2022-12-23 - 1:00:50 GMT

 npokahama.ishihara@gmail.com 様に送信された電子メールが配信できずに戻ってきました

2022-12-23 - 1:01:00 GMT

 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様が電子メールを閲覧しました


2022-12-23 - 4:08:45 GMT- IP アドレス : 66.249.84.53

 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様が文書に電子サインしました

署名日 : 2022-12-23 - 4:10:07 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 126.158.118.211

 文書が署名のために yamaguchiito@yahoo.co.jp 様に電子メールで送信されました


2022-12-23 - 4:10:08 GMT

 石原 達也 (npokayama.ishihara@gmail.com) 様に送信された電子メールが配信できずに戻ってきました

2022-12-23 - 4:10:15 GMT

 yamaguchiito@yahoo.co.jp 様が電子メールを閲覧しました


2022-12-23 - 4:10:40 GMT- IP アドレス : 111.89.117.3

 署名者 yamaguchiito@yahoo.co.jp 様は 署名時に 伊藤 彰 として名前を入力しました

2022-12-23 - 4:23:28 GMT- IP アドレス : 111.89.117.3

 伊藤 彰 (yamaguchiito@yahoo.co.jp) 様が文書に電子サインしました

署名日 : 2022-12-23 - 4:23:30 GMT - タイムソース : サーバー- IP アドレス : 111.89.117.3

 すべてのプロセスが完了しました

2022-12-23 - 4:23:30 GMT